

- ① 医学部5年生のシミュレーション教育
(BSL特集2)
 - ・麻酔科診療
 - ・周産期医療
 - ・新生児医療
 - ・救急超音波
- ② H25年度利用者統計
- ③ H25年度主な研修会
- ④ 交通案内・利用方法 など



愛知県地域医療再生計画により設立された、名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは、新生児医療、周産期医療、救急医療の3領域の研修を通じて地域の医療安全の確保とチーム医療の向上を目指します。

医学部ベッドサイドラーニング(BSL)特集2

麻酔科診療 シミュレーション教育



祖父江 和哉
麻酔・危機管理医学分野教授

麻酔科は、5年生のBSLで臨床シミュレーションセンター(CSC)を活用しています。私たちは、シミュレーションにより大変効率よく実習が進むと感じていますし、学生からも高評価を得ています。

麻酔科BSLは、麻酔、集中治療(救急車同乗実習を含む)、ペインクリニックの3本柱で構成されています。シミュレーターを使用するようなoff the job training(学生と患者は非接触)により知識と技術を習得した後、on the job training(患者と接触)によりさらに実践的に学ぶという形を基本としています。CSCでは、初日に各種気道確保法と麻酔導入をトレーニングし、学生は最終試験に合格した上で翌日の学生主導型麻酔(学生が診察、麻酔計画、麻酔、術後診察等すべて主導的に行う)に参加します。学生は実習開始2日間で驚くような成長を見せます。BSLにおいて、シミュレーションをうまく取り入れることは、大変重要であると実感しています。

さて、各種シミュレーターは徐々に充実してきているようですが、今後はシミュレーターを使用した各種研修プログラムの作成と検証が必要でしょう。また、CSCの重要性について、医学部ならびに附属病院により一層のご理解をいただき、専任教員の配置によりシミュレーション教育にさらに力を入れる必要があると考えます。CSCが、名市大医学部・医学研究科ならびに附属病院にとって、また、私たち職員にとっても全国に自慢できる特徴ある施設へとさらに発展することを夢見ています。



周産期医療 シミュレーション教育

臨床シミュレーションセンター周産期産婦人科部門は、妊娠の診断から分娩まで“安全なお産”のための正しい知識と手技を学ぶことを目的として、医学部学生、医師、助産科学生、看護師、助産師を対象に2011年4月に開設されました。当センター開設以来おこなわれている、全国でもまだ数少ない医学部BSL『産婦人科臨床シミュレーション実習』の内容の様子をお伝えします。



片野 衣江

周産期医学

臨床シミュレーションセンター副センター長

- 1) 内診シミュレーターを用いた基本産婦人科内診や分娩時の内診手技(ビショップスコア)の実地。産婦人科の内診は特殊な診察のため、臨床実習ではほとんど機会がなく、実際のところ医学生にとってまったく分からないことが多いため、シミュレーター使用での実習は医学生にとって非常に有用です。
- 2) 分娩シミュレーターを用いた経膈分娩のシミュレーション。学生2人1組となって妊産婦と分娩助産者を交代しながらロールプレイするものです。実際に自分で『生んで』みるので分娩時の回旋がよくわかり、分娩の臨場感がリアルに体験できると好評です。難産の末、無事出産できたときは思わず歓声があがります。
- 3) 産婦人科超音波シミュレーターを用いた胎児推定体重算出のための超音波手技実習。頸管長測定や羊水インデックス測定もおこないます。

経膈超音波シミュレーターを用いた産婦人科疾患ごとの子宮・付属器・ダグラス窩の観察、描出・測定手技習得もおこないます。始めはぎこちないプローブさばきも徐々に手慣れたものとなっていきます。

みなさんもぜひ産婦人科臨床シミュレーション実習を体験してみませんか。改善点やもっと知りたいこと、取り扱ってほしいことなど、臨床シミュレーションセンター周産期産婦人科部門に対するご意見をお待ちしています。



平成 25 年度 センター利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	1,390	1,289	1,368	1,074	856	613	1,113	942	957	768	732		11,102
うち学外	156	291	560	472	122	318	396	272	454	80	200		3,321
利用件数	53	61	59	52	27	44	58	53	58	42	39		507

新生児医療 シミュレーション教育



加藤 文典

新生児・小児医学分野
臨床シミュレーションセンター副センター長

新生児・小児医学分野では医学部5年生の臨床実習(BSL)において新生児シミュレーターを用いて新生児蘇生法に関する教育を行っています。はじめに講義を行って新生児蘇生の知識を深めたあとに、シミュレーターを用いて蘇生の初期処置、人工呼吸、胸骨圧迫、気管挿管等の手技を医学生に体験してもらっています。実技実習では、成人とは大きく異なる新生児サイズの物品に触れてその大きさ(小ささ)を実感してもらうことから始め、新生児の生理学的特徴をふまえた新生児蘇生法を習得することを目指しています。



基本手技を適切に実施できるようになった後には、高性能シミュレーターを用いて実際の臨床状況に即したシナリオ演習を行っています。医学生にとってなじみ深いとは言えない領域である新生児蘇生法ですが、人工呼吸や気管挿管などの手技には興味をもって取り組んでいるように感じています。また、授業時間内の実習ではありますが、講義後に日本周産期新生児学会への公認申請を行っていますので、所定の手続きをすれば「新生児蘇生法終了認定」の資格を得られるようにしています。

新生児蘇生法は将来新生児に接する機会のある診療科に従事しない限り、普段の臨床に役立つというものではありませんが、講義や実習を通じて1人でも多くの医学生に周産期医療に興味をもってもらえれば良いと感じつつ、今後も継続して実施していきたいと考えています。



平成25年度に行った研修会など

周産期領域：愛知県新人助産師研修会

ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics)プロバイダーコースin名古屋市立大学
名市大 医療・保健 学びなおし講座「Birth Tour 2013」など

新生児領域：日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法講習会 (NCPR)

胎児エコー研修会 など

救急領域：日本ACLS協会 PALSプロバイダーコース (小児二次救命処置)

日本ACLS協会 BLSヘルスケアプロバイダーコース (一次救命処置)

日本ACLS協会 ACLSプロバイダーコース (二次救命処置)

日本救急医学会認定 桜山ICLS講習会 JMECC内科救急医講習会 JPTEC講習会 など

その他：超音波ガイド下中心静脈カテーテル研修会 職員BLS講習会 薬学GP 看護部研修 など。

救急超音波 シミュレーション教育



救急部における医学部5年生の超音波実習について紹介いたします。

救急外来において超音波検査は「第2の聴診器」といわれることがあるほど良く用いられます。実習では①心臓の観察 ②下大静脈の観察

③FAST (Focused Assessment with Sonography for Trauma) 検査法 について学んでもらいます。地域救急医学寄付講座で購入してもらい臨床シミュレーションセンターに設置してあるシミュレータを利用して行っています。

FAST検査法は、外傷の初期診療において心臓腔、腹腔および胸腔の液体貯留(出血)の有無の検索を目的としておこない、ショックに陥る可能性のある損傷を鑑別するために行われます。

実習者が興味を持って行えるよう臨場感を高めることを心がけています。すなわち、基本的な超音波検査の手順を理解したのちには、できるだけ実際の診療での利用を意識してもらうために、重症患者の一次評価であるいわゆるABCDE診察アプローチの中のC(circulation循環)の異常を認める傷病者の評価法として理解できるように、ストーリー仕立てで、シミュレータの症例を経験してもらいます。

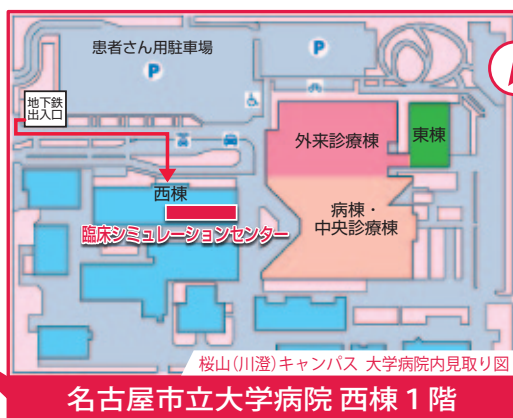
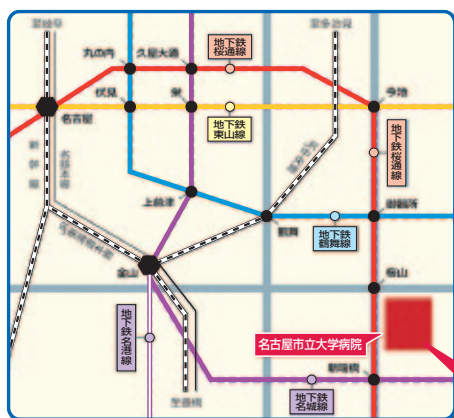
このシミュレータは救急外来で働く研修医等にも広く利用されており、今後、より効率的な実習を行えるようプログラムを改善していきたいと思っております。



笹野 寛

臨床シミュレーションセンターセンター長

交通案内



[交通機関]

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車
3番出口

市バス 金山7番のりばより
金山12「市立大学病院」下車
金山8番のりばより
金山14「市立大学病院」下車

(一般用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい)

利用方法

- ・ホームページ(URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>)より**利用申請書・不動産一時貸付申請書**をダウンロードしてFAX、郵送または受付まで持参していただけますと、センターで利用許可証を発行します。
- ・使用予定日の6ヶ月前の月の最初の平日よりお申し込みいただけます。
- ・特にセンターの設立目的に合った利用のみは6か月以上先の予約でも受け付けます。従って、第1受付日でも既にお申し込みいただけない日ができる場合がございます。ご注意ください。最新の施設空き状況は、お電話にてお問い合わせください。
- ・使用目的、使用計画などをお知らせいただきセンター設立目的に合わないものは利用をお断りすることがございます。詳しくは、センターホームページをご覧ください。か、**センター事務室までお問い合わせください。**
- ・敷地内及び周辺道路における禁煙を実施しています。

受付時間

月-金 9時から17時(祝日除く)

vol.7
(2014.4)

発行：名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター

電話 052-853-8429 FAX 052-853-8436

E-mail simncu@med.nagoya-cu.ac.jp URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>